

2024年度（令和6年度）事業計画

障がい者相談支援センターこうせいかん

1 施設を取り巻く現状と課題

(1) 事業の種類及び利用定員

- ① 計画相談支援
- ② 障害児相談支援
- ③ 地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）

(2) 区市町村等からの受託、補助事業等

- ① 由布市地域生活支援事業実施規則により実施される相談支援事業
- ② 障害支援区分認定調査

(3) 地域における公益的な取組

- ① 由布市地域自立支援協議会や専門部会の事務局としての取り組み
- ② 相談支援や医療的ケア児等に関する研修実施への運営協力
- ③ 制度の対象となりにくい複合的な相談内容への対応

(4) 運営方針

地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に向けて障がい福祉施策や関連施策が変化するなか、横断的に関係機関と連携しながら対象者の個性や想いを活かした支援の展開ができるように、「課題解決を目指す支援」と「繋がり続けることを目指す支援」を両輪としていきながら対象者のニーズを把握し、必要なサービスや制度の利用方法を提案できるよう努める。

日々変化する社会情勢のなかで多種多様・複雑な要因を抱えている対象者に対して、由布市相談支援事業を請け負う事業所のひとつとして基本相談を一層重視してアセスメントを繰り返すなかで、対象者が描いた将来像を整理し、住みたい地域で安心して生活できるように縦横断的に関係機関（専門職群）と連携した制度にとらわれない相談支援体制を整え、各種制度・サービスの利用援助を行う。制度の対象となりにくい対象者にもしっかりと支援体制を整えていくことに一層重点を置く。

また、由布市地域自立支援協議会のなかの事務局のひとつとして当事業所は位置づけられていることから、由布市福祉課や市内にある2つの委託相談支援事業所と密接に連携していきながら由布市らしい活動の在り方や展開を模索し、地域生活支援拠点事業所として関係機関と連携を深めながら地域に根差した地域生活支援拠点機能の展開を目指していく。

相談支援専門員として業務を展開していくなかで、よりよい情報共有のあり方、効率的な取組のあり方などを模索・検討を重ねていく。

2 施設の実施策と取組の方向性

(1) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

ア 福祉・介護業界のイメージアップを図り、多様な働き方を推進する。

実施施策	・断らない相談支援
現状と課題	・いろいろな背景から困りが生じている対象者へのニーズに対応する。
取組の方向性	・様々な相談内容を受け止め、対象者自ら対応する能力を引き出し、必要に応じて関係機関に繋ぎ、制度の対象となりにくい内容にも寄り添って対応する。

イ OJT 制度を中核に職員一人ひとりを育成し、チームケアを推進する。

実施施策	・ひとりで抱え込まない業務分担
現状と課題	・多種多様な事例への対応が必要
取組の方向性	・スタッフ間で事例を共有し、GSV を展開していくことで、支援方法のヒントや連携が必要な関係機関を模索する。同時に事業体として向上に繋げていく。

ウ 職場風土を改善し、職員の定着率とモチベーションを高める。

実施施策	・課題解決のプロセスを楽しむ。
現状と課題	・対象者自身の強みに着目し、ライフステージに応じた寄り添いを行う。
取組の方向性	・対象者自身の能力を引き出しながら、社会資源を活用できるよう支援していくなかで、多職種と縦横断的に繋がっていくことでスタッフ個々の動機と向上、やりがいに繋げる。

エ 業務の生産性を高め、ワークライフバランスを推進する。

実施施策	・ICT 活用
現状と課題	・効率的な連絡体制の確立や情報の共有が一層求められている。
取組の方向性	・公用携帯電話購入を検討 ・ホワイトボードなどを有効活用する。 ・書類の一層の PDF 化保存を進める。 ・タブレットを使用した視覚化を意識した対象者への説明を進める。

	・プロジェクターを活用したスタッフ間での共有を行っていく。
--	-------------------------------

(2) 利用者児の生活を支えるサービスの質の向上

ア 先進的で魅力あるサービスを提供し、サービスの質を高める。

実施施策	・総合的・専門的相談支援の充実
現状と課題	・多様化する相談内容に対応する必要がある。
取組の方向性	・相談支援専門別研修、相談支援現任研修、医療的ケア児研修などに積極的に参加し、スタッフの資質向上に努める。加えて、相談支援研修や医療的ケア児研修運営実施への積極的な協力を行い、機関連携と共有を深めていく。 ・関係機関と縦横断的な連携を深める。

イ 安心安全で快適な暮らしを保証し、利用者児の満足度を高める。

実施施策	・対象者本位のサービス展開
現状と課題	・対象者が思い描く将来像実現に向けた関わりと同時に多職種連携を深めていくことが必要
取組の方向性	・多職種連携を深めていきながら、多彩な支援の可能性を検討して対象者の抱える課題に向き合っていく。同時に対象者とスタッフの人間的な繋がりの中で関わる課題を整理しながら地域の社会資源と結びつきを強めていく。

ウ 施設機能を積極的に開放し、地域とのつながりを強化する。

実施施策	・ワンストップ相談支援の展開
現状と課題	・制度の対象となりにくい事例にも目を向けて取り組む。
取組の方向性	・障がいにとらわれず、制度の対象となりにくい相談内容にも積極的に対応していく。

(2) 安定的で持続的な経営基盤の確立

ア 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

実施施策	・基本相談の重視
現状と課題	・複雑な相談内容への対応、制度の対象となりにくい

	事例への対応
取組の方向性	・由布市からの委託相談支援機能を重視し、基本相談を繰り返し受けながらアセスメントを重視していく。 断らない相談支援体制を内外に示しながら専門機関と連携を深めた相談支援体制を構築する。

イ 中長期的な視点をもって、持続性の高い経営を行う。

実施施策	・スタッフの資質向上
現状と課題	・社会資源の活用、調整、開発する力を身につける。
取組の方向性	・自立支援協議会や専門部会の事務局としての活動、内外の研修会への参加などを繰り返し、専門性を深めながら、当事業所としての地域生活支援拠点の展開を目指す。

ウ 組織内の連携を強化し、強固な組織体制と経営基盤を確立する。

実施施策	・地域移行に係る支援
現状と課題	・事例の共有を図っていきながら、対象者の思いなどを整理していく
取組の方向性	・GSVなどを活用し、連携を一層深めながら、個として事業体として展開を重ね、関係機関と連携を深めながら当事業所として展開できる地域生活支援拠点を展開していく。

3 目標利用率

事業名	定員	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均/月
計画相談支援	なし	39	39	41	39	39	41	39	39	41	39	39	41	39件/月 (相談支援専門員2名)
障害児相談支援	なし	6	6	4	6	6	4	6	6	4	6	6	4	5件/月 (相談支援専門員2名)
地域相談支援	なし					1	1	1	1	1				1件/年 (相談支援専門員2名)

4 固定資産物品購入計画

(単位：千円)

名 称	執行見込額
公用携帯電話	15 千円

5 修繕計画(大規模修繕を除く)

(単位：千円)

名 称	執行見込額
特記事項なし	

6 大規模修繕計画

(単位：千円)

名 称	執行見込額
特記事項なし	